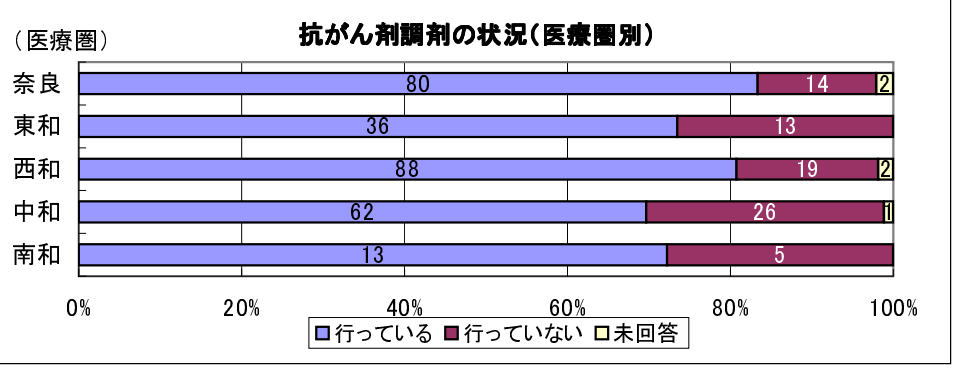
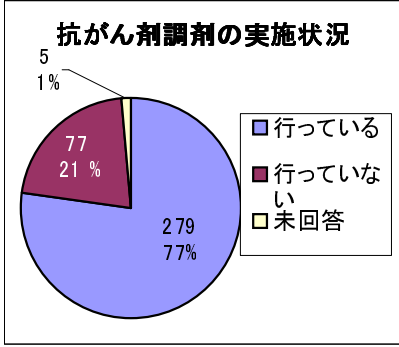


<結果概要>

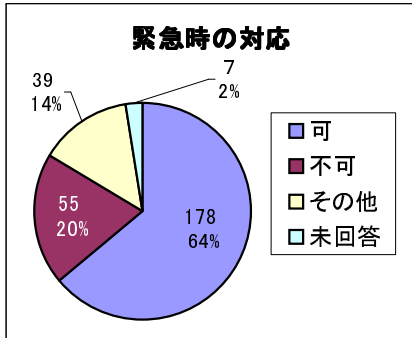
●抗がん剤の調剤(注射薬を除く)



抗がん剤調剤については、279施設(77%)で実施していた。医療圏別でみると、奈良医療圏、西和医療圏で抗がん剤の調剤を行っている薬局の割合が多かった。

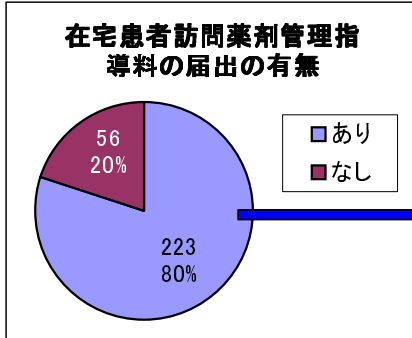
以下、抗がん剤の調剤を行っている279施設の状況を示す。

●緊急時の対応



抗がん剤の調剤を行っている279施設中、緊急対応が可能な薬局は、178カ所(64%)であった。その他として、電話対応のみ可能、本社にて対応、近隣の薬局を紹介等であった。

●在宅患者訪問薬剤管理指導料(居宅療養管理指導を含む)の届出の有無

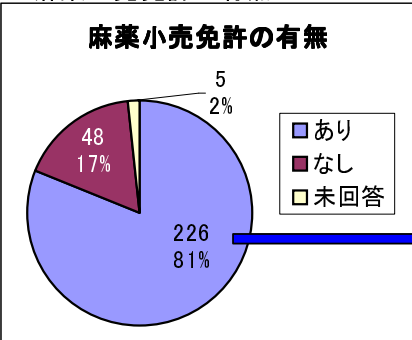


<在宅患者訪問薬剤管理指導料 算定数> (平成23年10月)

算定数	施設数
0	169
1~10	28
11~20	8
21~30	5
31~40	1
41~50	1
51~60	2
70~	4
未回答	5

抗がん剤の調剤を行っている279施設中、在宅患者訪問薬剤管理指導料の届出をしている薬局は、223施設(81%)であった。そのうち、平成23年10月の1カ月間に実際に算定した薬局は49施設(22%)【うち『がん』での算定8施設(4%)】であった。

●麻薬小売免許の有無



抗がん剤の調剤を行っている279施設中、麻薬小売免許がある薬局は、226施設(81%)であった。そのうち麻薬の在庫がある薬局は、161施設(71%)であった。

<麻薬の在庫の有無>

	施設数
あり	161
なし	65

●がん治療や緩和ケアの患者の服薬指導で困っていること

- ・告知の問題や症状が良くわからない。
- ・患者さんがどの程度知っておられるかわからない時、最初の対応が難しい。
- ・告知がどのようにされているか医療機関からの情報がない事もある。
- ・困っていることはないが、体調の変化の有無、副作用等気になる症状の有無など浅い服用指導になりがちである
- ・がん患者さんへの投薬でどこまでふみこんだ話をするか等
- ・体調変化の確認などであまり踏み込めない
- ・今までは緩和ケアも深くとり組んだことがなかったが、これから多方面でのかわりを持つ事になってきたら不安は多い
- ・がん治療の患者さんがたまにいてくらないので慣れず毎回確認したりしています。緩和ケアについての知識もあさいで、勉強していきたいと思っています。
- ・困ってはいないが研修会はほしいです。
- ・今のところなし。奈良県薬剤師会の緩和ケア研修に参加しています。